

きらり

酒田市農業委員会報 No.22



「グリーンアスパラと珍しい紫アスパラ」(黒森地区)

特集

平成23年度農業委員会目標決定 (2、3面)

被災地へ義援米を贈る

世界の米粉事情 ～粉食文化の国 ベトナムを視察して～ (4面)

酒田農業の「いま」を知る (5面)

～2010年 世界農林業センサス結果の概要から～

農業青年出会い・交流創設事業 実行委員募集 (6面)

若手農業者リレーエッセー かぜ

麦わら通信 短信 (7面)

23年 春季号

農業委員の活動が 酒田農業の未来を拓く!!!

特集



平成23年度

目 標

酒田市農業委員会



運 営 方 針

農業・農村を取り巻く状況としては、今冬の豪雪による農業施設（ビニールハウス）の倒壊被害や東日本大震災による物流の停滞に伴う花卉等農産物の被害などにより、農家経営に大きな影響を与えている。

また、TPP（環太平洋連携協定）交渉参加の問題や地球規模での温暖化の進行、世界的な大豆等農産物の需給の逼迫による価格の上昇の他、国内的には、米価の下落、担い手の高齢化と減少による耕作放棄地の増加など厳しい環境が続いている。

近年、食料の自給率向上に対する理解や食の安全・安心に対する国民の関心も高まっている中で、地産地消や食農教育などの積極的な活動により、農産物に対する消費者と生産者の相互理解が深まってきている現状にある。

農業委員会では、農業のもつ役割・意義などについて、農業関係機関・団体とともに、消費者に積極的にPRしていくとともに、米を始めとする酒田農産

農業委員会目標

1. 認定農業者等担い手の育成及び確保
 - ・担い手育成総合支援協議会と連携し、認定農業者制度の周知と集落営農の法人化の支援
2. 担い手への農地の利用集積
 - ・農業委員による農地の利用集積に向けた掘り起こし活動
 - ・農地銀行制度の推進
 - ・広報などでの農地等の有効利用に向けた制度や農政情報などの周知
3. 違反転用への適正な対応
 - ・広報、チラシ、農地パトロールによる違反転用発生防止に向けた周知、啓発
4. 耕作放棄地の解消
 - ・農業委員による地区パトロールの実施と農地所有者に対する指導
 - ・担い手への利用集積の推進

物のブランド化と消費拡大を図るため、海外も視野に入れた販路拡大の調査等を実施していく。併せて自給率向上対策の一環として耕作放棄地の解消に積極的に取り組んでいく。

さらに、地域の活性化、後継者の育成及び担い手の確保が農村社会の維持発展のために不可欠であることから、青年農業者や女性農業者に対する支援を進めていく必要がある。

また、組織の見直しにより、平成二三年一二月から、農業委員の定数は二九人となるが、農

業委員は農業及び農民の利益を代表する機関である農業委員会の一員として、健全な農業経営の発展・継続のために、連携しながら一致団結して活動を展開していくものとする。



目標を説明する土門会長

農政部会重点目標（項目）

1. 建議・要望及び国への要請活動の実施
2. 適切な賃貸借契約を締結するための賃借料情報の提供と農作業基準賃金の設定
3. 農業者年金への加入促進
4. 農業者・消費者への情報提供活動の推進
5. 認定農業者等の担い手と後継者の育成・確保
6. 農業経営体の経営管理能力の向上
7. 青年農業者・女性農業者の支援、育成
8. 地元農産物の利用と販路の拡大
9. 食と農について消費者への理解促進
10. 農地・水・環境保全向上対策の理解と普及



さつまいも栽培で耕作放棄地解消対策に取り組む

農地部会重点目標

1. 新しい農地制度に基づいて、農地法関係業務については、正確な事実関係の確認のため、現地調査を実施し、厳正、公正な遂行に努めるとともに、今後の農業情勢の変化に対応するため、部会委員は広く調査を行い、積極的に研修に参加し、知識習得に努める。
2. 農地の流動化を進めるにあたり、農地利用集積円滑化事業を活用するために、農地利用集積円滑化団体と連携し、積極的に関与していくとともに、農用地利用改善団体活動や農地銀行活動を活発化し、認定農業者等への農地の面的集積を推進する。
3. 農地の利用状況調査を行い、耕作放棄地（放棄地化の恐れのある場合を含む）を把握し、適宜指導・勧告等を行って拡大防止に努めるとともに、関係機関と連携し、再生利用等解消対策を講じていく。
4. 農用地の無断転用を防止するために、随時巡回を行い、発見時には迅速に是正指導を行う。
5. 山砂採取に伴う一時転用にあたっては、酒田市農業委員会の審査基準を基本とし、関係農振協議会、自治会等の合意を得るとともに、環境問題へも十分配慮した計画的な優良農地の造成とその活用が迅速に図られるように指導する。

被災地へ

義援米などを贈る

三月一日に発生したマグニチュード九・〇という大地震により、各地で甚大な被害が発生しました。

酒田大火の際、各方面から物心両面にわたり多大な支援を受けたまちとして、酒田市では地震発生後直ちに関係機関等と連携し対応に当りました。そして、被災地支援のための義援金や救済物資には、たくさんの方の市民の皆さんから善意が寄せられました。

酒田のお米で 元気を届けよう!!

酒田市の農業委員会でも被災者に向け、四月八日に救済物資や義援金などの支援を、酒田市を通じて行いました。物資支援では、農業委員が白米を持ち寄り、合計一一〇kgが集まりました。集まった白米は義援米として、被災地分九〇〇kgを市営体育館に、酒田市避難所分二一〇kgを親子スポーツ会館に届けました。今被災地では、復興へ向け懸命な努力を重ねています。これから私たち農業者も、秋にのこる酒田のお米や野菜などで元気を届けられるようにがんばりましょう。



新たな魅力を求めて世界の米粉事情を探る!!



粉食文化の国ベトナムを視察して

今、巷で話題の米粉。県内の多くの自治体で高性能な「米の製粉機」が導入され、米粉うどん、米粉パン、米粉クッキー、米粉ケーキと多種多様な米粉を利用した商品が開発され、販売されています。そして、昨年のヒットNO.1商品は、白米からパンが焼ける新しいホームベーカー「GOPAN」だとか。

【ベトナム視察】

若い女性に人気のヘルシーな「ベトナム料理」、それは、ライスペーパーで野菜などを包んだ生春巻きや平打ち麺のフォーなど、米粉を使った料理です。同じ米の粉を料理に使うベトナムと日本では、どんな風に違うのか、二月一日から二日間で酒田農業技術普及課職員と米粉に興味のある女性農業者有志で粉食文化の国ベトナムのビーン村、ライスペーパー村、フォー村を視察し、ハノイ農業大学で研修をしてきました。

教授のお話では、日本の米はアミロース含有率が低く、アミ

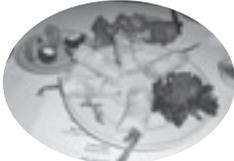


ハノイ農業大学での研修

ロベクチンの含有率が多いことにより、粘りがあり、やわらかい米だそうです。ベトナムの米は、その反対でした。ベトナムのフォーは、つまりは日本の米粉うどんのことで、日本の米粉うどんがモチリし、ベトナムのフォーがサラツとしているのは、米の種類の違いのようです。白米を粉にするやり方も違い、日本は米をそのまま製粉機に入れて粉にしますが、ベトナムは水に浸した米を臼で挽いて粉にしています。



ベトナムの代表料理フォー



生春巻

【ビーフン・フォー・ライスペーパーの作り方】

それではせっかく研修してきたので、作り方を簡単にご紹介しましょう。それぞれの作り方は、とても似ています。

① 精米した米を一晩水に浸し、胚芽部分を取るために、かき混ぜる。

② 石臼で米を水挽きし、粉にして水に浸す。



自家製の石臼で挽いている

※ ②を2日間発酵させるとビーフンになります。



ビーフンを水に取っている

③ 布で水切りし絞る。米粉の出来上がりです。



布でしぼっている

④ 水に混ぜた米粉をベルトコンベアの上で落とし、機械に入れ蒸気で蒸す。



薄く板状に出てきます

⑤ 細く切ればフォーになり、薄く伸ばして乾燥させ、丸く切るとライスペーパーになります。



ライスペーパーにするため乾燥

ちなみに・・・丸くライスペーパーを抜き取った残りは、飼育されている豚の餌になるそうです。

(関口友子委員)



酒田農業の「いま」を知る

～2010年世界農林業センサス結果の概要から～



平成22年2月現在で実施された2010年世界農林業センサスの調査結果が公表されました。そこで今回は、過去の調査結果と比較することにより、本市の基幹産業である農業の「いま」を探ってみましょう。

【農林業センサスとは】

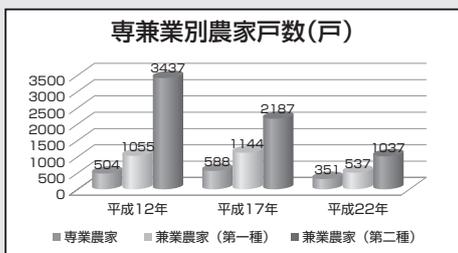
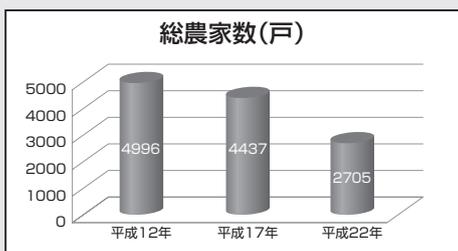
農林業の生産構造、就業構造を明らかにするとともに、農山村の実態を総合的に把握し、農林行政の企画・立案・推進のための基礎資料を作成し、提供することを目的に、五年ごとに行う調査です。



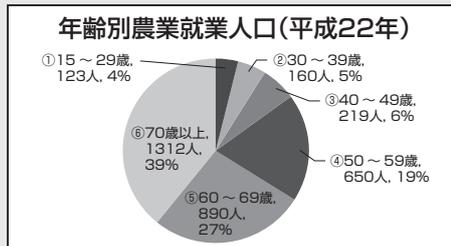
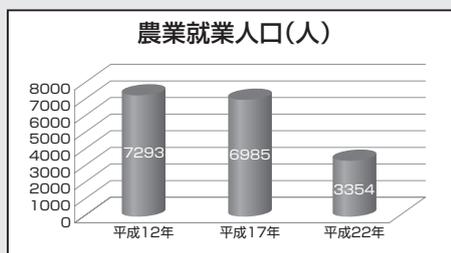
【総農家数・専兼業別農家数】

総農家数は2,705戸で、前回に比べ1,732戸減少しました。これは、農業従事者の高齢化による離農が進んだことに加え、平成18年から19年にかけて集落営農組織と担い手への農地集積が推進されたことが大きく影響したと考えられます。(1つの集落営農組織は、1つの農家としてカウントしています。)

専兼業別では、兼業農家の減少が大きくなっています。



【農業就業人口】



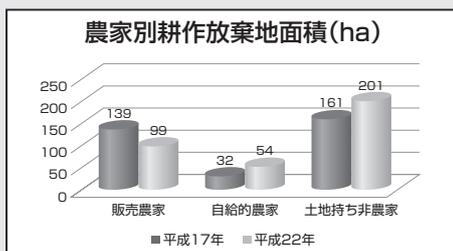
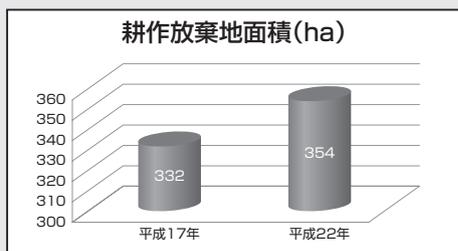
農業就業人口は、3,354人で農家数と同様の理由により、前回より大きく減少したと考えられます。

年齢別では、70歳以上の占める割合が39%と大きくなっています。

平均年齢は、前回の61.4歳から63.3歳となり、高齢化が進んでいます。

【耕作放棄地面積・農家別耕作放棄地面積】

耕作放棄地は354haで、前回より22ha増加しました。農家別では、販売農家は減少しているものの、自給的農家と土地持ち非農家は増加しています。農業委員会でも耕作放棄地解消対策の重要性を再認識させられる結果となりました。



※耕作放棄地とは、以前耕作していた土地で、過去1年以上作物を作付けせず、再び作付けする意思のない土地をいいます。

農業体験×婚活＝酒田農業の元気

～農業青年出会い・交流創設事業～

チームえだまめ2年間の軌跡

稲刈り体験



さつまいも掘り体験

交流会で流しそうめん



『やる気』『元気』のある農業青年の 実行委員を募集します!!

農村社会における若者の定住と活性化を図るために、平成23年度も農業体験などを通じた農業青年の出会いと交流の場の創設事業を実施することになりました。

そこで、新たに実行委員メンバーを募集し、活動をスタートしたいと思います。

【対象となる農業青年】

次に掲げる全ての要件を満たす人

- ①酒田市内の農村集落に住所を有する人
- ②概ね40歳までの人
- ③独身の人
- ④社会人としての良識を備え、心身ともに健康な人

【募集人員】 約15名

【募集締切】 イベント時まで随時

【費用】 交流イベントの際の自己負担金があります。

【申込・問合せ先】 酒田市農業委員会 ☎26-5767



かせい

～若手農業者リレーエッセー～



昨年春は春の低温日照不足には始まり、夏の高温障害、秋の長雨、冬は大雪に見舞われて、農協の玄関に行くこと、何らかの対策本部の看板が立っている、異常気象のデパートという状態でありました。今年こそは穏やかに、季節の風情を感じ俳句のひとつでも詠みながら仕事をしたいものです。

そんな中、このたびの東日本大震災で天地がひっくり返るような甚大な被害が発生しました。改めて自然の脅威を感じました。同時に地域を守る人、それを支援する人の姿には感動を覚えました。復興にはまだまだ時間がかかるかもしれませんが、

『揺れる想い』

平田地区・砂越 水落 亘

我々もできる限りの支援をしていかなければならないと思います。地震、津波被害で作付けできない田畑も多くありますが、原発による放射能汚染は一層深刻です。現在、生産物が出荷できずに廃棄しなければならぬ農家が大勢います。同じ生産者として心中を察するに余りある思いです。

今後風評被害も広がり、食料の高騰、品薄は続いていくと思います。かつての米不足の時のように、一気に安い外国産にとってかわるかもしれません。今度の原発事故は、国と東京電力の危機管理不足が招いた人災です。環境保全は農林水産業だけでなく、経済産業界全体で取り組んでいかなければならないと思います。そのためには、自然エネルギーへの転換が必要ではないでしょうか。





東京 武蔵野市

麦わら通信

~売れています!!
酒田の農産物~

「野菜需要の変化」

三月一日

発生した東日本大震災の爪あとは、依然底知れぬ状況で、東京で販売している者

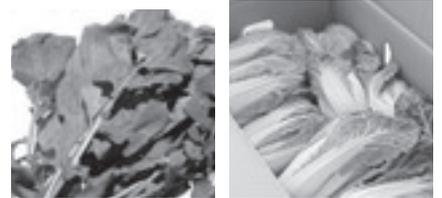


とっては風評被害との戦いが続いています。震災後約二週間酒田市から野菜が届かない時、改めて庄内野菜のありがたみを感じたのは私だけでなく普通に購入していた近隣在住の庄内ファンも同様でした。

波乱万丈だった平成二二年度も終了し、結果前年度売上を更新することができました。これで五年続けて前年度売上を上回り、五年前の水準を倍増まで成長できたのは、庄内野菜のおかげと言っても過言ではありません。近年安心・安全というキーワードは、麦わら帽子一ツチフリーズは、麦わら帽子一〇年の歴史のモットーであり、その基盤があつてこそ現在の生鮮品のシェア六割に繋がっているはず。安全安心においしさが加わっている庄内野菜の入

荷はこの五年で四倍になっています。

今年度においてもスタックだけでなく、ファンからも期待の高い庄内野菜ですが、売れ筋商品の



動きがこの数年変わってきているのも事実です。三年ほど前だと記憶していますが、山形県推奨品としてエジプト菜が売出された時、かなり販売することに苦労を感じていましたが、現在では当たり前のように売れています。娃娃菜も同様でしたが、近年は売れ筋が大きく変化しています。ほうれん草・小松菜と

いっただピユラーな野菜は縮小傾向の中、サラダ系野菜・温野菜に適したものが売れ筋の中心を占めています。来店客層が若くなっているのと、へ身体のため」という意識から変化して

毎月第4金・土曜日は…

酒田フェアを実施中!

ると分析しています。

米どころの庄内地区としては、嬉しくもあり哀しくもあるでしょうが、都会女性の食生活がパシとサラダにスープというスタンスはしばらくの間は定着することでしょう。また、ミニ野菜の人気（先程ふれた娃娃菜を含む）が強く、小ロットでの小分け販売が年齢を問わず喜ばれていて、麦わら帽子でも率先して行っています。味の良さでファンが多い庄内野菜が、更なる挑戦でより一層のファン拡大に繋がることを期待しています。

(統括マネージャー)村田和彦

短 信

新農業委員の紹介

富樫善弘委員



土地改良区連絡協議会からの推薦委員であった鈴木敏夫氏が退任されて、四月三日付で新

く富樫善弘氏（日向川土地改良区）が選任されました。農地部に所属します。

農業者年金受給権者現況届の提出は六月末まで

現在、農業者年金を受給されている方が、引き続き年金を受給するためには、「農業者年金受給権者現況届」を必ず提出しなければなりません。

現況届の用紙は五月末頃に、農業者年金基金から直接受給者の皆様へ送付されます。

六月一日からの受付となりますので、農業委員会事務局、各支所の窓口まで提出してください。

なお、農業者老齢年金のみ受給の方については、郵送による提出や市役所閉庁時の地下宿直室での受付も行います。

農業委員会事務局の新体制

- | | |
|----------|-------|
| 事務局長 | 土田 清一 |
| 事務局次長 | 佐藤 敏行 |
| 農地主査 | 佐藤 久志 |
| 農地係主任 | 五十嵐則子 |
| 農地係主任 | 安倍 誠 |
| 農地係主任 | 須田 知明 |
| 農地係主事 | 大谷 優子 |
| 農地係主事 | 池田 和夫 |
| 八幡支所調整主任 | 守屋 純 |
| 松山支所調整主任 | 佐藤まゆみ |
| 平田支所調整主任 | |
- よろしくお願ひします。

酒田のキラリな女性たち

「ミセスみずほの会」



皆さんの笑顔でおいしさを伝えます



心をこめて漬物の袋詰め作業

私たち「ミセスみずほの会」は、亀ヶ崎地区の女性8名で活動し、鵜渡川原きゅうりの栽培から漬物の加工、販売までを手掛けています。平成3年に活動をスタートし、今年で20年になりました。

亀ヶ崎地区で古くから栽培されている鵜渡川原きゅうりは、小さく愛らしい形から「めっちょこきゅうり」と商標登録され親しまれています。

漬物には、浅漬け、からし漬け、ビール漬け、粕漬けなどありますが、平成19年からピクルスに挑戦しました。ピクルスは、なかなか良い味がです四苦八苦しなりましたが、昨年12月に販売することができました。

販売活動では、酒田市の友好都市である東京都北区で開催されるイベントなどにも参加していて、酒田在来野菜の「めっちょこきゅうり」をたくさんの人、特に若い世代の人にも食べてもらいたいと思っています。

これからも全員一致団結して、がんばっていきたいと思います。

代表 新関 喜美子 / 会員数8名



新商品「ピクルス」

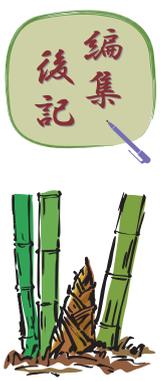


完成まで手間を惜しみません



おいしさをギュッと袋の中に

もうすぐ、あの日から七五目にやってくる。
（k a z z）
に。
も熱さを忘れることのないように。
更されるかも知れない。喉元過ぎ
掛けている。社会システムさえ変
夏に向けて国は更なる節電を呼び
は九〇日、アメリカは七日らしい。
つぼくなるらしい。ちなみに韓国
は九〇日、アメリカは七日らしい。
夏に向けて国は更なる節電を呼び
掛けている。社会システムさえ変
更されるかも知れない。喉元過ぎ
ても熱さを忘れることのないよう
に。



一八七九年、エジソンが電球を
実用化した。その後、発電所を設
立し、送電から電球までの電力シ
ステムを作り上げた。
あれから一三〇年余。現在の日
常生活において、電気は無くては
ならないものになっている。東日
本大震災の際につくづく思い知ら
された。テレビ・照明・暖房はも
ちろんのこと、炊飯器・レンジ・
風呂・電話機・ウォッシュレット・
インターネット等、ことごとく停
電により使用できなくなった。ロ
ソクを灯し、ラジオを聴き、懐
中電灯を片手に厚着をして一晚を
過ごした。未だにライフラインが
回復していない被災地の方々から
すればたった一晚のことであつた。
日本人は七五日を過ぎると忘れ
つぼくなるらしい。ちなみに韓国